



伊丹特別支援学校進路担当

風が冷たく寒い日が続き、雪も例年以上に降っている中、変異株によるコロナウイルス再拡大でまだまだ不安な日々をお過ごしだと思います。今後も体調には気をつけてお過ごしください。

さて、進路だよりも残すところ今年度あと2回となりました。今回の進路だよりでは、3学期に高等部の3年生が行う『個別の移行支援連絡会』についてQ&A方式でお伝えします。

Q&A 個別の移行支援連絡会ってなに？



Q. 会の目的ってなに？

A. 高等部卒業後の就労や生活への移行が円滑にできるようにするための会議です。支援関係者が一同に集まり、卒業後の本人・保護者の願いを実現するための情報交換、支援内容や役割分担等を確認していくことを目的としています。

Q. 会議に出席するのは誰ですか？

A. 生徒本人、保護者、学校関係者（管理職、進路担当、担任）、伊丹市障害福祉課（ケースワーカー）、伊丹市こども福祉課職員、学校指導課職員（教育委員会）、相談支援事業所（相談支援専門員）、進路先の事業所などです。必要に応じて、ホームヘルプや訪問看護、ショートステイ、移動支援、PT、OT等の事業所なども出席します。

Q. 開催時期はいつ頃ですか？

A. 高等部3年生の1月～2月に行っています。今年度に関しては、1月28日の午前中のみ実施します。

Q. 具体的には、どんな内容の話をしますか？

- A. ①出席者の紹介（顔合わせ）をします。
②本人・保護者の希望や願いを確認します。
③学校で作成した個別移行支援計画をもとに、情報共有をします。
④進路担当が事前に確認していた利用内容や頻度等の確定事項について最終確認をします。
⑤福祉や行政より今後の利用に関して等必要な事項の確認をします。
⑥相談支援専門員より卒業後からのサービス利用計画や障害児利用計画書等の確認をします。
その他、連携方法等の課題があれば話し合います。



Q. 話し合われた内容はどのように活用されますか？

A. 引き継ぎ資料として事業所へ渡します。その内容のもと、今後の支援に活用していただきます。また、引き継ぎ資料だけでなく、引き継ぎ実習も行い、本人のことも知ってもらえるように進めます。相談支援専門員は、会の内容をもとに正式な「サービス等利用計画」を作成し、市に提出します。

上記のような内容で卒業後の支援がスムーズに移行していけるように学校が進めていきます。何かご不明な点がありましたら、進路担当までお問い合わせください。